

2019年度 事業活動の基本方針・目標と活動計画

1. 基本方針

2025年度には、団塊の世代と言われる大量の人達が75才を迎える、超高齢化社会が本格化致します。このことは「支える人と支えられる人」がほぼ同数になることを意味しており、今、我々高齢者に問われていることは、日々の生活をどのように自立して、健康で、有意義に過ごして行けるかであります。

その中にあって、我々長寿会仲間2,200余名は、健康、友愛、奉仕、交流の四つの活動理念を掲げて高齢者支援のベストパートナーとして積極的に活動してまいります。又、行政機関や自治会など関係団体とも緊密に連携を図りながら、高齢者の中核的活動組織として積極的に代弁・提言を行うなどして高齢者福祉の向上に努めて参ります。

そこで私たちが、今年度重点的に取り組んでまいります施策は「高齢者相互支援事業の推進」と「人財育成」であります。

昨年11月より4ヶ月をかけて養成した8名の受講生に特命を与えて、この4月1日「高齢者相互支援事業部」をスタートさせました。

この高齢者相互支援事業とは、従来の「友愛活動部」の声掛け、安否確認、友愛訪問等に加え、買い物、通院等の外出支援、清掃、ゴミ出し、剪定等の家事支援、更に「引きこもり」防止の為のカフェ、食事会、サロン等の「集いの場」の立ち上げ、更に加えて、災害発生時の避難支援を地区の自主防災組織と連携して行うこと等により、長寿会会員が住み慣れた地域で安心して住み続けることが出来るよう、日常生活のお困りごとへの支援をチームを作って支え合おうとゆう試みであります。

まだまだ、越えなければいけない高いハードルが幾つもあると思いますが、皆様の強力なご支援を心よりお願い申し上げます。

2. 基本目標・計画

(1) 仲間づくり活動の推進

2,200余名会員相互間はもちろんのこと、地域の知人を新しく仲間として迎えるため引き続き本部役員・地区会長が牽引努力する。

(2) 健康づくり活動の推進

「健康寿命」奈良県1位を目指している平群町にあって、高齢期を末永く自立て元気に過ごすために介護予防・健康づくりを、奈良県が推奨している「お出かけ健康法」を中心に積極的に推進してまいります。その成果を検証するためにも「健康診断」・「歯科検診」を定期的に受診するよう啓発するとともに、関連の各種研修会、体力測定会、並びに歴史探訪を兼ねた健康ウォークを継続して実施致します。また、かしのき荘の「健康相談室」の運営も会員看護師の協力を得て、高齢者への健康指導を継続します。

(3) 友愛活動の推進

介護保険法の一部改定にも対応する高齢者の社会的孤立や認知症会員への見守りや声掛けなどの友愛活動を、地域の自治会、民生委員などの関係者との連携を図りながら推し進めます。

また、かしのき荘に「お困りごと相談室」を継続して開設し、高齢者への支援ニーズを適格に把握致します。

(4) 積極的な奉仕活動

地域において「豊かなまちづくり」の一翼を担うために、地域内の清掃活動、児童の登下校時の見守り活動などの奉仕活動を積極的に推し進めます。また、本年度も「かしのき荘」の内外に亘る一斉清掃活動を多くの会員仲間の協力で実施します。

(5) 世代間交流活動の推進

伝承交流活動部の昔あそび、手品（マジック）などの活動を通じて、町内のかども園児、小学生などとの世代間交流を継続して実施します。

(6) 会員交流活動の推進

地区の月例会、42愛好クラブの活動、専門部による研修会等を通じて会員相互の積極的な交流活動を行い、会員相互の連帯感の高揚に努めます。

(7) 広報活動の充実

毎月全会員に配布する会報誌「ふれあい新聞」は連合会の事業活動を適宜広報するとともに、会員相互のコミュニティ向上に資するよう紙面の充実に、そして個別に配布する時には独居高齢者への声掛け運動にも努めます。

また、連合会独自の「ホームページ」にも随時活動状況を紹介して会員のみならず非会員への広報活動に努めます。

(8) 高齢者にやさしい町づくりへの参画

町が推し進める高齢者にやさしい町づくりと高齢者福祉向上への活動のために委員会等に役員を派遣するなどして積極的に参画していきます。

今年は平群町包括支援センターと協力して「生きいき100才体操」を地区長寿会の中に浸透させるとともに、平群町生活支援体制整備事業協議体とも協力し町民の生活支援体制の充実と利用促進を図ってまいります。